

8

國際商議關係書類第三七號  
昭和六年四月

國際商業會議所  
理事會に於ける

世界不況に關する演說並決議

日本經濟聯盟會

來る五月四日より米國華盛頓に於て開催せらるべき國際商業會議所第六回總會は、現下の世界不況問題を主要議題とし、參加國代表の協議に依りて國際協力に基く不況對策を攻究せむとするものであるが、豫て右總會の準備會議として昨年十二月五日巴里に於て開催せられたる理事會の席上、歐米、印度各國々内委員代表十六氏の經濟狀態の實情に關する報告的演説が行はれ、來るべき華府總會に於て爲すべき不況對策の綜合的研究に資する所があつた。本篇に收むるところは即ち是等諸演説の要旨並に其歸結としての世界經濟狀態に關する同理事會の決議書を邦譯に付したものである。

目下經濟不安は依然として不況の前途尙見極めもつかぬ折柄、右の如き重大使命を有する國際商業會議所華盛頓總會は、最近特に社會の視聽を集め、多大の期待を以て迎へらるゝ所であつて、本邦よりも各務鎌吉、星野行則、原邦造の三氏代表として之に出席せらるゝこと、なり、過日其一行の渡米を送りたるに際して、同總會の不況問題攻究に基礎づけ、且つ本問題に關する各國の情勢と態度とを窺ひ得べき、右理事會に於ける演説並に決議の内容を紹介し置くことは徒爾ならざるべく、茲に邦譯を印刷に付し配布する所以である。

昭和六年四月

日本經濟聯盟會

目次

佛蘭西	ルネ・デュッシャマン氏演説の要旨……………	一頁
獨逸	フランツ・フィン・メンデルスゾーン氏演説の要旨……………	一五
伊太利	アルベルト・ビレリー氏演説の要旨……………	二〇
英吉利	アーサー・バルフォア卿演説の要旨……………	二五
米 國	サイラス・エイチ・ストローン氏演説の要旨……………	三二
白耳義	グスタフ・エル・ジュラード氏演説の要旨……………	三七
波 蘭	ボグスロー・ヘルセ氏演説の要旨……………	四〇
瑞 典	ジョセフ・ザックス氏演説の要旨……………	四三
和 蘭	ド・モッシュ氏演説の要旨……………	四七
獨 逸	アブラハム・フローグイン氏演説の要旨……………	四九
英 吉 利	フレリック・ス・シヌスター卿演説の要旨……………	五一
チエツコス ラバキア	ジョセフ・ヴァネック氏演説の要旨……………	五五

印度	ダビッド・エス・エラルカール氏演説の要旨……………	五
羅馬尼	アーサー・ホルバン氏演説の要旨……………	三
瑞 西	ルネ・ヘンチ氏演説の要旨……………	空
西班牙	カルロス・グラスト氏演説の要旨……………	空

國際商業會議所理事會ニ於ケル現下經濟狀態ニ關スル決議…………… 九

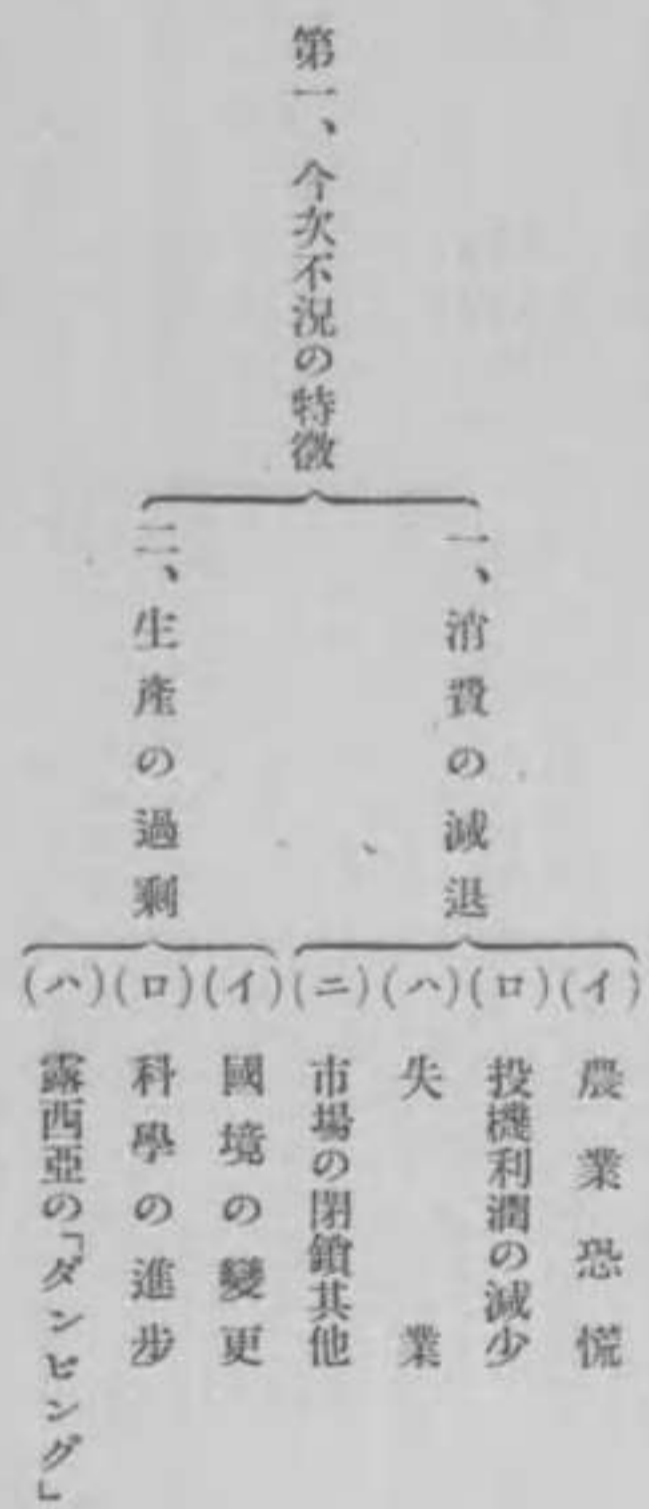
## 佛 蘭 西      ルネ・デュッシマン氏演説の要旨

(René Duchemin)

佛國製造品組合聯合會々長  
國際商業會議所副會頭

### 序 言

一般不況原因を看做さるゝ經濟事象  
不況問題討究の基礎



第二、不況現状の概観

- 一、農産物及畜産物 (イ) 農産物 (ロ) 畜産物
- 二、工業製品

第三、不況對應策

- 一、市場の開發
- 二、生産の調整 (イ) カルテル、アンタント——生産協定 (ロ) 關稅問題と生産協定 (ハ) ダンピングに就て

結語

序言

世界不況の原因並に其經過に就ては、甲論乙駁、諸説紛々として定まる所なく、唯夫れ渾沌として捕捉し難い現状である。斯の如く廣汎にして錯雜せる大問題に對しては、各人の觀る所は何れも自己中心の片面觀に陥らざるはなく、之に對して中正公平の判斷を下すことは極めて困難である。從て廣く不況問題全般に涉る論議の如きは一の冒險事とも稱すべく、或は徒に議論のみ沸騰して竟に歸結を見ずして終るなきやを虞るゝものである。然し乍ら今回チユニス議長より本問題を議題に供されたに就て、私は佛蘭西國內委員會代表として敢て如上の危険

を冒し、現在の世界不況の原因——とは言へない迄も、少くも其特徴並に經過に就て聊か茲に愚見を披瀝し度い。

一般不況原因と看做さるる經濟事象

- 不況原因の探究は廣く各方面に涉つて種々に行はれるが、試に從來世上に論議された所を大別列挙すれば左の通りである。
- (イ) 通貨關係乃至は金融上若くは財政上の變調
  - (ロ) 生産過剩を來すと同時に消費減退せること
  - (ハ) 一九二九年十月の紐育に於ける株式の崩落及び之に續ける世界株式界の動亂
  - (ニ) デフレーション現象
  - (ホ) 金の不足と偏在及び金本位の世界的動搖
  - (ヘ) 戰時債務に因て起れる商業上及通貨に關する變動
  - (ト) 無秩序なる物資の分配及び其結果として消費者の被れる過重負擔

不況問題討究の基礎

以上の諸説は夫れ夫れ相當の論據はあるが、不況問題に關する論議の中心は不斷に變轉して窮まる所なく、斯る場

合の常として各人の言ふ所は何れも一長一短を免れない。唯現在の不況は矢張り過去の週期的不景氣と相類似して居る。こいふことに就ては、是等各種の説の代表的論者の齊しく相一致するもの、如くである。此點に於て「歴史は繰り返す」は現在の不況に適用するも亦穿ち得たる真理であつて、生産過剰等の不景氣の根本態様に至ては今更事新しく論ずる迄もなく、夙に先人の唱破した所である。

要するに不況の眞因は何處に在るにもせよ、現在世界的に生産が遙に消費者の購買力を凌駕して居ることは衆目の一致する所であり、如何なる理論も之を動かす得ざるこの目の目前の事實である。此事實を前提として吾々は進んで今回の不況の特徴を研究し、其過去の不況との相異點を見出し得るのである。

### 第一、今次不況の特徴

今次不況の特徴は之を大別すれば、一は消費の減退に係るもの、他は生産過剰に關するもの、二方面に分つこゝが出来来る。

#### 一、消費減退の方面

##### (イ) 農業恐慌

先づ第一に擧ぐべきは世界的の農業恐慌である。大多數の農業國に於ける連年の豊作並に未耕地の開墾に因て、小

麥、砂糖其他各種農産物のストックが増加し、延いて農産物價格の激落となりて農民大衆の購買力を減退せしめた。斯くて合衆國、加奈陀、亞爾然丁、中歐諸國、玖瑪、蘭領印度、其他多數國の農業方面は著しく支拂能力が低下し、消費の減退を招致したのである。

##### (ロ) 投機利潤の減少

次は投機利潤の減少に基因する消費の減退である。大戰直後信用は極度に膨脹した爲めに、世界的に投機熱が勃興した。こゝは否まれぬ事實であつて、其結果として一般に株式の投機利益を以て普通収入の一部として取扱ふ風を刷致し、消費力は之に伴て増加した。然るに紐育の株式崩落並に之に續いて起れる世界的證券の下落を轉機として、投機界の繁榮は爰に終幕を告げ、投機家全般の購買力減少を來したのである。

##### (ハ) 失業

消費減退は又各國に於ける失業の増大に基因するこゝは勿論であつて、失業は現下不況の結果であり又同時に其原因でもある。即ち機械の進歩、産業合理化、軍備縮少、又は戦後經濟機構の一變したこゝ等の諸事情相寄せ、失業者續出の因をなしたのであるが、失業が増大すれば消費は減退し、消費減退の結果は更に失業を増大せしむる原因となつて居るのである。

##### (ニ) 市場の閉鎖其他

以上の外尚ほ消費減退の由來せる事項を列挙するならば、露西亞の大市場閉鎖並に極東市場の萎縮あり、他方銀價

暴落あり、又戦時に勃興せる或種の地方重要工業の減落等、すべて是等諸事情の総合的影響を考慮し來らば世界市場復舊の至難なることは誰しも之を首肯せざるを得ない所である。

### 二、生産過剰の方面

前述の如く消費の著しく減退した時に際して逆——實は寧ろ當然と言ふ方が正しいのではあるが——生産は驚くべき増加を示した、而も今次の不況に在ては單に過去の不況に於て見るが如き普通の生産過剰のみならず大戦の結果歐洲に於ける國境線の一變したこゝ、長足なる科學の發達、或はソヴェト露西亞の經濟政策等の新事情が別に加つて居るのである。

#### (イ) 國境の變更

戦後歐洲に於ては國境に著しき變化を來したが、新しい國境に依て在來の物貨流通路が遮斷されるに共に、戦後列國は何れも國家有事の場合に備ふる爲め、且つは經濟獨立の完璧を期して、自給自足の實現を計るに汲々たる有様であつて、勢ひ諸工業の生産過剰を誘致したのである。

#### (ロ) 科學の進歩

又戦争以來科學が急速に進歩し、之が諸工業の發達に貢獻したこゝ極めて大なるものがあるが、是等の新らしき科學的諸工業は生産原價を低廉ならしめる爲めには、大規模の大量生産方法に依るを有利とする關係上、遂に今日の如

き生産過剰を現出するに至つたのである。

#### (ハ) 露西亞のダンピング

露西亞の新經濟政策も亦生産過剰の一要素である。ソヴェト政府の五ヶ年計畫は早くも其成果を示し來り、其行ふこゝろの大規模のダンピングは、只さへ生産の過多に惱める世界市場に、彌が上にも一大重荷を附加した爲めに、物價は全く破格に低落し、甚しきは原價を割り總かに其原料費を支ふるに過ぎぬものも珍しからざる有様である。

### 第二、不況現狀の概観

以上述べたこゝろの消費減退及び異常なる生産過剰の各種の原因事象は、今回の不況に即いて離れざる特徴である。然らば此不況は今後益々深刻化すべきや否や、又果して如何なる發展過程を辿るべきかに就ては、先づ之を農産物及び鑛産物ミ工業製品ミの二方面に大別して觀察する必要がある。

#### 一、農産物及鑛産物

#### (イ) 農産物

本年(一九三〇年)は歐洲の或國々に於て、小麦、砂糖の收穫は前年より低下したに拘らず、其世界の全ストックは

前年の秋に比して却て増加して居る。此事實はこりも直さず、農業不況なるものは天候の良否又は其生産物價格の下落に依て誘致さるべき耕地面積の減少の如き、單なる自然條件乃至經濟上の自然調整作用に委して之を放置すべきではなく、各農業國相互間の協定の如き人爲的救済策が必要なる事を暗示するものも考へる。

(ロ) 鑛産物

一般鑛産物の價格は極端に低落し、一時は或は今後も尙ほ引續いて落調を持続すべきかを憂慮されたところであるが、既に鑛山炭坑關係業者の廢業の已むなきに立到つたもの多く、從て或種のストックの如きは之に準じて現に減少しつつある状態であり。此分ならば遠からず需給の均衡が實現されるであらう。

二、工業製品

續つて工業製品は如何に云ふに、工業に於ては生産過剩と同時に極めて廣汎なる事業の集中化が行はれたのであつて、此點は農業に大に其趣を異にして居る。

現今世界各國に於て事業の破綻没落の傾向益々急なるに徴しても明かなるが如く、不健全なる企業體は片端より淘汰されつつあるにも拘らず、生産の減少は尙ほ需要の減退に添はず、未だに前途の不安濃厚なる所以のものは、工業界にあつては事業破綻若くは没落せるもの夥しとは言ふもの、今回の不況に於て始めて見らるる現象として、實際上斯の如き運命に陥つた中小企業體が會々他の事業主の手に移るか、又は是等が有力なる大組織の企業體に併合され

るに、單なる外形的の變化に止まり、其生産要素の實質は依然として工業界に存在して居るのであつて、生産能力は其實さ程減退して居ないからである。

然らば果して此現状を打開すべき方策なく、吾人は唯袖手傍觀の外なきかといふに斷じて然らずである。

第三、不況對策

不況救済策を講ずるに當つて第一に目指すべき要件は、一には消費者の購買力を培養助長すること、二は生産調節を計ることであり、之が實現に努むるは全世界の生産者全部にかゝる責任である。

一、市場の開發

市場の開發即ち購買力の回復を期する爲めには先以て市場萎縮の原因に遡つて、其根元に横はる障礙を除去する必要がある。

(イ) 農業の救済

農民大衆は世界に於ける最大消費群なることは言ふ迄もなく、工業關係者が其製品の市場開發を計るに當つても此農民の經濟的地位即ち農業不況の現状を無視することは出来ないのである。農業は元來工業と利害相反するものでは



なく、農業が興隆し農民の購買力が増進するに及んで工業も亦其潤ひに浴し得るのであつて、農工兩者は密接なる相互依存の關係に立つものである。かゝる意味に於て工業關係者は須らく目下の農業不況に最大の注意を拂ひ、政府を援助鞭撻して其救済手段を講ずべきである。

(ロ) 信用の伸張

次に貿易の發展は取引上の信用如何に係る所甚だ大なるものがある以上、工業關係者は自業の振興上、現在萎微せる信用を如何にして伸張すべきかに就ても自ら之が解決に當らねばならぬ。

然し茲に謂ふ所の信用の伸張とは、取引の圓滑を計るの意味であつて、人為的に信用を過度に擴張し不自然な産業繁榮を招くことを意味するものではない。斯の如き無理な手段に依る根柢なき産業繁榮は寧ろ百害あつて一利なきことは過去の經驗に徴しても明かなる所であるから、かかる弊に陥ることもなく、専ら合理的にして健全なる經濟組織の建設に向つて進まねばならぬのである。

(ハ) 株式市場の救済

沈滞せる株式市場に景氣恢復を示す材料を供して株式の恢復を計り、以て株式關係者の支拂能力を向上せしむることは、之亦工業關係者のみるべき賢明なる一つの不況對策である。

二、生産の調整

(イ) カルテル、アタラント——生産協定

不況對策として最も有效なるは生産界の組織化である。現不況の最大原因は上述の如く過剰生産にあるのであつて、此問題を解決するのは當然工業關係者の責務である。

今日多くの場合アタラント、カルテルの如き生産組織に依つて分擔生産を確保するところの生産相互間の結束が最も肝要である。尤も此種の産業組織は其内失敗に歸したものであるが爲め、世上一部の非難はあるが、それは當らぬ批判である。其失敗に終つたものは偶々指導者が經營方針を誤り、製品の協定價格を高く維持せんとした爲めに競争企業の出現を促し、遂に生産過剰に陥つたからであつて、現に之を反對に健全なる低價協定方針をとり來つたものは其存立を完うし、而も不況の緩和に貢献しつゝあるのである。勿論總ての産業に此種の産業組織を適用することは不可能なる現狀であるが、其實績の好果は漸次廣く認められ一般に行はるるに至るであらう。

現在の不況に處して吾々先づ努むべきは、此廣漠たる不況の沙漠の中に經濟平和のオアシスを創造すること、又假令初めは薄弱微力なるにもせよ、將來必らず強靱有力に世界經濟を包括すべき産業協定網を編成することである。斯てこそ始めて消費力の復活と市場膨脹の未來を待望することが出来る。

但し此産業協定の實現を計るに際しては、初めは同一國內生産業者間の自由協定とし、然る後漸次外國生産業者に及ぼして行くに非れば、政府又は議會の高壓的干渉に逢ふ虞あることに豫め注意を要する。

(ロ) 關稅問題と生産協定

尙ほ残された問題として關稅問題がある、本問題は極めてデリケートな問題であるが、私は之に關して簡單に然し忌憚なき意見を申し述べて見度い。

自由貿易、保護政策、共に不況救済の道に非ず 自由貿易は保護政策の可否は、今以て國際上の問題として喧しく論議されて居る所である、吾々としては全力を盡して通商障礙の撤廢緩和に努力すべきは敢て噉々を要しないが、而も自由貿易論は畢竟するに一の理想論たるに過ぎないのである。

抑も自由貿易なるものは生産を理想的好條件の下に行ひ得る新世界に於てはいざ知らず、沿革久しき經濟狀態を有する國々に於て行はるゝ場合、其結果は單に歴史的成果たる經濟調整機能の破壊に終り、唯徒に社會的不安を惹起するに止まるであらう。苟も保護貿易國にして何れの國か其全經濟組織破壊の危険を冒し、多年刻苦の末漸く贏ち得たる農工制度を賭して迄も其關稅の撤廢を敢てするものがあらうか。此事は過般國際聯盟が關稅引下の提唱をした其直後に於て各國のまつた關稅政策に就て觀ても明かな所である。

斯の如く觀じれば結局保護政策以外にさるべき道はなく、而も保護政策は自由貿易論者の論難するが如く、其高度化する所、或は戰爭の慘禍をも醸すに至る虞を免れぬことは事實である。唯自由貿易に依るも保護貿易を以てするも、この道國家滅亡の難を免れぬものみすれば、寧ろ保護政策をこるに如かずである。

關稅問題は生産協定に依り自ら解決すべし 要するに過度の保護政策は自由貿易主義、其孰れを以てしても世人の望むが如き平和を招來することは事實不可能であつて、現在の産業不安救済の道は唯一途生産界内の統制あるの

みである。即ち生産者間の協定にして漸次産業各部門に普及されむか、其協定生産品に關する關稅制度の調整の如きは易々たる問題に過ぎないのみならず、保護關稅の負擔を消費者に轉嫁せしめざるこそ、協定産業組織（アンタナント・カルテルの如き）本來の特性であつて、其運用にして適正を失はざる限りは關稅障壁の存否如何は最早問題ではなく、敢て之を廢止するにも及ばぬことになり、此場合關稅は寧ろ協定の斑に加はらざる利己的な生産者の侵害に對する保護手段としての意義を有するに過ぎぬことなるであらう。

但し此協定産業組織にして其運用の方針を誤らむか、其餘弊は實に保護制度の弊害のみならず、戰時に行はれた輸入禁止を再びするを要するが如き險惡なる事態をも誘致するに至るのであつて、要は協定生産の統制運用の如何にあるのである。

(ハ) ダンピングに就て

次に廣い意味に於ける國家管理の下に行はるゝ事業も亦不況問題を論ずるに當り之を看過することは出来ない。東部歐羅巴の或國の行ふ産業政策の如き其著例であり、多分の危險性を帯びたるものである。現に其行ひつつある大規模のダンピングは、僅か材料費にしか當らぬ極端なる低廉價格を以て世界市場を脅かすものであつて、總て他國も亦之に對して報復手段を講ずることなるであらう。斯て一國のダンピングは相手國のダンピングを挑撥し、終には輸入禁止の非常手段に訴ふるのやむなきに立到るのである。

以上述べたが如き現在の經濟危機に際し、全世界の商工業者を糾合慫慂して極端なる各自の利己主義を棄て、全般の利益の爲めに進んで多少の自己犠牲を提供し、以て世界文化有終の美を濟さしむるは、我國國際商業會議所の如き實際的使命を帯ふる經濟機關の負ふべき任務ではあるまいか。さり乍ら問題は極めて重且つ大である。成否の程は豫斷を許さぬ。唯直往邁進の努力あるのみである。

獨逸

フランツ・フォン・メンデルスゾーン氏演説の要旨

(Franz von Mendelssohn)

獨逸國內委員會議長

國際商業會議所副會頭

第一、獨逸の經濟事情

第二、世界不況の特徴  
乃至原因

- 一、自然淘汰の行はれぬこと
- 二、各國の經濟的獨立への努力
- 三、國際貸借の平衡を失せること

第三、不況對策

- 一、通商障礙の撤廢
- 二、失業問題の解決

デュッシヌマン氏は廣く不況の原因並に之が對策に就て述べられたが、其對策は各國に共通なものであり、何れの國家にも之を適用し得るものである。そこで私としては先づ第一に我獨逸に就て述べ度いと思ふ。

## 第一、獨逸の經濟事情

我國が莫大なる資本を喪失したに拘はらず、戦後生産並に經濟組織の著しき發達を遂げたのは、一は戦時に消費し盡した物資の補充、既に不良又は廢物に歸した工業諸設備の改善の必要に迫られたことにも依るが、同時に又從來は列國が克く獨逸に許すに信用を以てするだけの經濟状態に在つたことが、我國の復興に與つて力があつたのである。

然るに今日生産は著しく減退し、失業数は無慮三百五十萬人即ち昨年（一九二九年）に倍加し、一部の失業者数は勞働總数の十乃至十五パーセントに達し、而も今回の失業状態は従前の夫れとは異り永續性を帯びて居る。獨逸の特殊事情

獨逸個有の不況原因の内第一に擧ぐべきは缺乏せる資金の補充に充てた高利息の外債であらう。而も之等の外債は皆短期債であつて、之を長期資金として利用することが出来ない爲めに、長期資金に至つては全く涸渇して居る状態である。其上尚ほ膨大なる國費の重荷が加はるのであつて、政府は目下實業界の有力者と協力し、銳意之が節減に努力して居るが、而も生産の減少と失業者の増加とに因り、一方歳入の減少を來すと共に他方著しく歳出の増大を來し、之が爲め不況は益々深刻化して行くばかりである。

今日の如き國際的相互依存の經濟組織に於ては、資本にもあれ物貨にもせよ、各國一として世界的經濟難、特に生産分配の均衡を缺くことに因る經濟難の影響は免れないのであつて、獨逸は以上の如き其特殊事情に加へて激甚なる世界不況の一般原因及び其影響ももこより免れ得ぬ所である。

## 第二、世界不況の特徴乃至原因

### (一) 自然淘汰の行はれぬこと

若し全世界を通じて經濟學上の法則が其まゝに行はれたならば、弱小企業不良事業の類は自ら淘汰せられて、需要供給は或程度迄調節されるであらうが、今回の不況に於てはかゝる企業に投下した資本の損失を免れる爲めに、一般に極力之等企業の破綻彌縫に努むる結果として、其自然淘汰は充分に行はれないのである。

### (二) 各國の經濟的獨立への努力

現今多數國家は國內工業の發達を計るに共に、關稅障壁或は新産業の樹立に依り、經濟的獨立の實現に努力する所あるが爲めに、生産能力は購買力を凌駕するに至り、國際協調は破れ、各國の工業は新たに他國に興起した同種産業の壓迫を受けて不振に陥つた結果、世界經濟の全野に涉つて事業の各方面は何れも其負擔の過重に苦しむに至つたのである。此世界的なる購買力の減退に對しては原料購入國たる加工國たるを問はず、此際大に貿易の發展を計るこそ最も喫緊の必要事であらう。

## (三) 國際貸借の平衡を失せること

國際貸借の平衡を失して居ることも亦不況を一層深刻ならしむる一原因である。即ち之が爲め債務國の購買力を低減する一方、其支拂金は必ずしも之を受取る債權國に於て全部經濟目的の上に使用されない爲めに、茲に國際資本の偏在といふ危険症候を呈し來つたのである。

我國際商業會議所は夙に其設立當初より、是に深甚なる注意を拂ひ、之に關する特別委員會を設置して、國際決済問題を全般的に且つ純經濟的見地より解決せんむ努力して居ることは吾々の最も欣幸とする所である。

## 第二、不況對策

## (一) 通商障礙の撤廢

世界不況に際し、現今各國の行ふ所を見るに、概して保護政策の傾向を示して居るが、事實上天然資源の關係から言つても、事業並に財政の實狀に就て觀るも、自給自足を目指して保護政策を講ずることは、各國何れにしても幾多の無理があるのである。此際反對に國際通商こそ大に其必要を痛感せざるを得ないのであつて、今後尙ほ引續いて保護政策を墨守し、益々通商の自由を拘束するが如きは、決して現在の不況を打開する所以ではない。然るに此點に就ては遺憾乍ら未だ容易に一般の覺醒の至らぬ爲めに、夫の國際聯盟の企てた折角の關稅引下協定の如きも遂には不結果に終らざるを得なかつたのである。

私は茲に敢て一般自由貿易主義を唱道するものではない。唯此際歐洲各國は通商上相互に利害關係を俱にするものなることを廣く一般に確認せしめ徹底せしむることは極めて肝要にして、又之が國際商業會議所の抱負であり任務でもあることを切言したに過ぎない。

## (二) 失業問題の解決

吾々は協力一致して國家並に國際的利益を擁護し、又健實なる私有財産制度の安固を祈るものである。

今や無辜の失業者は巷に溢れ、而も其前途や暗愴として何等の光明もない。動もすれば此等窮民怨嗟の聲が政府當局者乃至事業經營者側に向つて放たれるのも亦洵にやむなきところである。

斯かる失業難はもこより獨り獨逸に限らず、その被害は廣く全世界に蔓延し、僅かに佛蘭西一國を除くの外、各國爲政者の念頭に去來するもの、唯如何にして資本主義制度下に於て此失業の大慘禍を救ひ得べきかの大問題あるのみである。

我獨逸國民は目下此問題解決の爲め、全幅の努力を傾注して居ることを私は茲に確言するものである。

失業問題は唯獨逸一國の問題に非ずして、實に世界の大問題である。不況時に處して人心は兎角利己に走り易きも、今日の場合吾々は特に列國共存共榮の理をよく辨識し、豫て我國際商業會議所の理想とする團結協力の眞精神を發揚すべきの秋である。

# 伊太利 アルベルト・ピレリ氏演説の要旨

(Alberto Pirelli)

伊太利國內委員會議長  
國際商業會議所名譽會頭

## 第一、不況の特徴

- 一、農業恐慌
- 二、通貨に関する諸問題
- 三、経費節減難
- 一、失業、農業、工業、鐵道海運
- 二、商業
- 三、財政、金融
- 四、不況恢復に對する伊太利の努力

現在の不況は其性質複雜を極め、基因する所亦多種多様であるが、先づ其特殊部面の特実事實に就て考察する必要がある。

## 第一、不況の特徴

### 一、農業恐慌

世界諸國を通じて最も手痛き打撃を被つたのは農業方面である。農業は工業とは異り土地天候の自然條件に拘束される關係上消費に應じて生産を調節することが困難であると同時に、一面に於て農産物(特に穀物)の消費は伸縮性を缺き、價格の變動に因る消費高の増減が著しくない。斯の如き事情に由て農産物の生産過剰を來したことが抑も今日各國の農業界が相率ゐて危機に瀕するに至つた第一原因であつて、更に不動産投資、長期負債の重荷或は貸銀等の生産原價構成要素を現在の農産物物價の準位に適合せしむる調節作用を容易に行ひ難い點に於て、今次の農業恐慌は特殊の重大性を帯びて居る。

### 二、通貨に関する諸問題

現在の不況の第二の特徴は、通貨關係の諸現象並に之が經濟各方面に與へた影響に因て一層不況の程度を深めた事である。通貨安定に就ては經濟復興の第一要件として各國齊しく此處に意を注いだ所であるが、其實行方策は國により各種各様であつた。其結果國內國外到る處物價の變動を惹起し、之が對策其ものが亦直ちに不況の原因となるが如き状態である。

### 三、経費節減難

第三には不況の深刻化するに伴つて起るこころの経費の節減難である。此事は大は國家財政より小は個人企業の末に至るあらゆる豫算の状態に就て觀取し得る所であるが、此種の経費は財政危殆に瀕せる際如何なる場合にもつき纏ふこころのものであつて之を奈何もする術はなく、之が爲に生産原價を高め、市場に於ける需要の減退に相俟て益々其痛苦を加重するに至るのである。

## 第二、伊太利の經濟狀況

以上述べた所を我伊太利の經濟狀況に徴して見るに、我國は世界不況に禍ひされるこころ他國程甚しくはなかつた。

### 一、失業

一九三〇年の失業数は前年より幾分増加しては居るが左程夥しくはない。

### 二、農業、工業

同年の農業收穫は天候不順の爲め概して稍不作であつた。又工業方面に於ては生産能力は總體に於て前年に比し十五パーセント乃至二十パーセント低下し、内鐵鋼の生産高は減少したが、鉛、亜鉛、アルミニウム等は却て増加して居る。電力、セメント、白熱燈に就ても同様のこころが云へる。織物工業は内外の消費減退に因り不振であり、石炭の輸入高は一九二九年よりは減少せるも尙一九二八年よりは増加して居る。

鐵道及海運は共に甚しい不況に陥つた。

### 三、商業

國內商況は一般不況の影響を被り、到る處破産倒産者の續出を見た。又外國貿易は一九三〇年十月迄の實績によれば輸出入共に價額は減少したが數量よりすれば農産物の輸出は却て増加し、工業製品の輸出は後半期に於て稍不振であつたが、全體として貿易貸借の狀況が前年度より良好であるこころは伊太利の製造業者が世界不況の影響に對抗努力した結果に見られる。

### 四、財政、金融

國民貯蓄の増加率は前年度に及ばなかつたが兎に角増加し、株式投資額も同様前年よりは減少せるも尙且つ十月迄に三十億リラを越ゆる巨額に達して居る。政府の豫算は最初の五ヶ月間に於て七億リラの不足を生じた。此點は官吏の減俸等機宜を得たる對策に依て爾後逐月改善されるこころは確かであるが、公共事業及び國防に關する歲計の缺陷は今後依然然財政上の難問題たるを免れない。

伊太利の公債額は國際聯盟の統計に據れば一人當り一一三リラであつて、之を佛蘭西の四五二リラ、英國の八〇七リラに比すれば敢て過大ではない。殊に浮動公債は僅か國債の五パーセントに過ぎぬこころは伊太利財界の安固なるを示す一面である。通貨は漸次收縮し、一九二八及二九年は各年六億リラ、一九三〇年は十月迄に七億リラの減少を來し、一九二六年以降合計四十二億四千萬リラの減少になつて居るこころは、之を以てしても政府首腦部が如何に通貨安

定政策に意を注いだ、財政經濟の立直しに對し如何に我國が絶大の努力を拂つたかを窺ひ知ることが出來やう。  
五、不況恢復に對する伊太利の努力

世界不況の襲來する直前、伊太利に於ては既に通貨の安定上必要なる各種の經濟調整の大部分を、而もさしたる困難を経ずして満足に遂行した。程なく澎湃として押寄せた世界不況の波濤は物價暴落、金價昂騰に因る財界の大動亂を捲起し、之に順應することに努むるを以て最大急務とするに至るや、我國は宰相ムツッリーニ氏統帥の下に舉國一致、全機關協力して之に當り、銳意局面の打開に努力を傾注した。即ち官民一體に渉る廣範圍の減俸減給が直ちに斷行され、而も關係者全員の奉公犠牲精神の發露として一絲亂れざる綱紀を保つて行はれた。會社の重役は自ら其賞與慰勞金を減額し、鐵道運賃、地代、家賃に至る迄一齊に引下げられた。凡て此種の手段は物價を引下げ、國家經濟組織をして不況に因て生じた新しい物價平準に調節せしむるに同時に、國民の節約習慣の助成に資する所があつた。斯の如き國民團結こそは目下の難境に處し、諸外國に於ても亦均しく我國の例に倣ふべきものと考へる。

### 結 語

世界不況も今や底入に近き情勢に在つて、不健全な企業は既に滅落し、累積せる商品ストックも亦現在消化されつつある。尙今後の問題としては小賣物價と卸賣物價の調整並に長期資金利率を今一層短期資金の夫れに接近せしむる事に一段の努力を要するも、此點は大體に於て將來必ず其實現を期待し得るに信ずる。

英吉利

## アーサー・バルフォア卿演説の要旨

(Sir Arthur Balfour, Bart., K. B. E.)

英國々内委員會議長  
國際商業會議所副會頭

### 第一、英國經濟事情概観

- 一、労働運動
  - 二、戦時負債及賠償金
  - 三、信用の缺如
  - 四、物貨移動の不自然
  - 五、資本家雇主の地位
  - 六、露西亞のダンピング
- 第三、露西亞ダンピングの脅威
- 一、英國對露貿易
  - 二、對露信用の危険性



- 一、米國消費力の回復
  - 二、金の偏在匡正
  - 三、小賣物價の低落
- 第四、景氣恢復の動機

本年（一九三〇年）七月以降、世界不況は一段深刻化し、各國は殆ど例外なしに失業者が益々増加する一方であつて、何等好轉の兆候は認められない、本會議に於て吾々は各自の見所を腹藏なく披瀝し検討して現在の經濟實情を究明し度いものである。

### 第一、英國の經濟事情概観

#### 貿易、失業、工業

英國に於ては、輸出は二〇%減少し、失業数は除々ではあるが漸次増加して、今や二百五十萬人に達せんとして居る。又工業の生産高は約四%を減じたが、生産能力には變化なく、月々多少でも輸出好轉の兆あれば直ちに之に應じて増産が行はれる状態にある。

### 第二、不況の特徴

#### 一、労働運動

英國に於ては、各種の社會政策施設及び労働組合法に依據して労働爭議の頻發するこゝが景氣恢復の一障礙であるに信ずる。

例へば一九二六年の炭坑大罷業以來、従業者二十八萬人の減員が行はれた後、事實上却て石炭の増産を見たるが如きは此間の消息を語るものである。炭業は大罷業後に事々に煩はしき政治的干渉を受け、加ふるに新たに制定された諸法令に依て、一方労働賃銀の切下を阻まれると共に、他方石炭市價の値上げを制限され、今日斯業は苦境に沈溺して居る。

#### 二、戦時負債及賠償金

經濟状態の立直りを阻害する第二の障礙は、戦時負債並に賠償金の問題である。此等巨額なる國際負債を負擔する我輸出貿易の主要顧客國々民の生活標準は低下し、延いて我輸出貿易の不振を來すと共に、其等債務國が其負債を決済する必要に迫られて低廉な價格を以て競争輸出を強行する結果、他の諸國に對する我輸出貿易之が爲めに脅威を受けるこゝとなるのである。此國際債務の問題に就ては關係各國の慎重なる考慮を要する所である。

#### 三、信用の缺如

更に今日の經濟状態の最悪なる特徴は世界的に信用の破綻を來し一種不安の念の彌漫せるこゝであるが、是は世界の商品價格が安定し好調に轉ずる機運に到達せざる限り奈何ともするこゝは出來ない。

#### 四、物貨移動の不自然

移民は従来共人爲的に自然の移動を阻まれて居るが、現在は物貨も之と同様に人爲的障礙に依て圓滑なる自然的流通が阻害されて居る。

#### 五、資本家雇主の地位

次に不況恢復に資すべき犠牲に就て言へば、或國に於ては勞銀の引下を行ふことは避くべからざるころである。之に關聯して年金或は定率利子に依食する富裕階級も亦此際相當の犠牲を拂つて勞働者其苦を俱にすべしとの説を屢々耳にする。然し乍ら翻つて五十年來殊に最近十年の歴史を仔細に討ねるならば此世界の富の保有者であり、雇傭資本の保持者たる富裕階級こそ其實他の階級に比して一層痛烈な打撃を受け、其被つた大損害は再び回復の道はないのであつて、今日物價下落に際し、彼等に定収入あるの故を以て其生活が必ずしも他階級に比して安易であることは最早云ひ得ないのである。貿易の振興を期するにしても、企業の經營、資本の運用に通曉せる資本主、事業家を遇するこそ今日の如く苛酷であり、又爲政者が大衆に迎合して雇主階級に對する苛斂誅求を維れしむる現狀に於ては、如上の眞理を確實に認識して新方策を樹立するに非れば、到底貿易の再興も之を待望することは出来ない。

#### 六、露西亞のダンピング

凡そ是等戰禍に由來する諸種の難問題の中にありても最も恐るべきは政治、道德、經濟の廣範圍に涉つて受ける露西亞の脅威である。

### 第二、露西亞ダンピングの脅威

露西亞は元來國民が粗衣粗食にして其生活費が低い上に更に強制勞働制を布いて居る關係上勞働費は廉く夫の五年計畫の如きも他國の豫想以上に進展しつつあるもの、如くである。

#### 一、英國對露貿易

英國が露西亞から輸入した小麥に就て觀るに一九一〇年乃至一四年の五ヶ年間に於ては總輸入高の一三%であつたが一九二六年乃至二七年の二ヶ年には四%に減じた。然るに本期は之が二四%に及び特に最近四週間に於ては四〇%の多きに達して居る。而も其價格は廉く、一クォーターに付二十二志見當である、世界の過剰小麥現在高六億一千三百萬ハンドレッド・ウェイトの内、其半ば以上は露西亞小麥である。

果肉類は露西亞の新輸出品であるが、昨年(一九二九年)英國は各種合計五萬三千ハンドレッド・ウェイトを輸入した。其價格たるや一封度に付一片位で、自國に於ける生果の原價以下に低廉なものすらある點よりして、將來の輸入額は莫大に及ぶ見込である。

砂糖、葡萄糖等の本年(一九三〇年)九ヶ月間に於ける露西亞品の輸入額は總輸入額四億五千九百萬ハンドレッド・ウェイトの中、一億二千九百萬ハンドレッド・ウェイトに達し、價格は一般價格より廉く、一封度當り一志一片見當である。

菓子類、木材等の輸入亦相當の巨額に上つて居るか、ここに將來を注目すべきものに、露西亞の新輸出工業品たる扉がある、最近英國の會社が一口に五萬枚の扉を輸入したが、來年度（一九三一年）分は一躍六十萬乃至七十萬枚を輸入すべき契約が既に成立し、其單價は米國及瑞典の八志六片前後に對して僅か三志六片といふ安値である。更に一九三二年度は露西亞製扉の全産額を残らず輸入する契約が成立せんとして居る。

#### 二、對露信用の危險性

露西亞人は今尚ほ長期信用取引を要求するが、貿易尻から言へば我對露輸出六百萬磅に對し、露西亞の對英輸出は二千二百萬磅といふ極めて彼に有利な状態にあるのであつて、我英國に對しては毫も長期信用取引を必要とする謂れはないのである。然るにも關らず露西亞は巧に他國を相互に牽制せしめて、其間自國に有利な様に支拂期限を延長することを實行して來て居る。

凡そ此種の事柄は露西亞人の生活標準の低い事並に其強制労働制度に鑑ても、將來或は對露輸出の長期取引は法令を以て禁止しなければならぬやうな不穩事態を誘致すべき一つの世界的脅威であり、當國際商業會議所に於て最も慎重に討究を要する重要案件である。之に就ては同國に對する長期信用取引の如きは先づ第一に之を避けねばならぬ。

#### 第四、景氣恢復の動機

以上不況の特徴に就て述べたが、然らば景氣恢復の材料は之を如何なる方面に求むべきであらうか。

##### 一、米國消費力の回復

少くも米國の物貨消費が一九二八年或は二九年と略同程度に回復し、物價が上昇し始めざる限りは、一般景氣の立直る望みはないと言へる。

##### 二、金の偏在匡正

金の偏在を匡正することは一切の景氣恢復の根本要件と見る人もあるが、専門大家の中には之を以て各國一般に通ずる決定的要件ではないとの説をなす者もある。

##### 三、小賣物價の低落

又卸賣物價は相當に低落したにも拘はらず、小賣物價が其割に下落しない爲めに生産費の切下が行はれず、從て廣く一般消費者は十分物價安の福利に均霑することが出来ない。

今や各種商工業は人爲的救済に依り、辛うじて其命脈をを保てるもの多く、あらゆる手段を講じて其従業者の失職を防止して居る状態であつて、それ丈け其處に財界の自然淘汰が行はれぬ無理があることは免れない。

要するに貨幣價值が安定し、吾々の日常生活に勤儉貯蓄の秩序確立するに非れば局面の展開は期待されない。此時に際し吾々の努力如何に依ては、國際商業會議所の不況打開に貢獻する所大なるものがあらう。

米國合衆國

サイラス・エイチ・ストローン氏演説の要旨

(Silas H. Strawn)

米國々内委員會議長

國際商業會議所副會頭

第一、米國の經濟事情

- 一、工業
- 二、労働
- 三、物貨の移動状況
- 四、貿易、物價其他
- 五、金融
- 六、失業状態
- 七、露西亞のダンセンダ

第二、不況に臨む態度に就て一般に對する要望

不況の原因に關しては米國々内委員會の意見は一致して居る、併し乍ら凡そ診察は易く治療は困難なるを當とする。國際商業會議所は來るべき華盛頓總會を待つ迄もなく、此際直ちに不況對策に着手すべきである。

第一、米國の經濟事情

米國は幸に其領土内に氣候の様々に異なる地域を包含し、又豊富なる天然資源の恩恵に依て一時非常な繁榮を呈したが、現在の不況程度は又未曾有に深刻を極めて居る。昨一九二九年晩夏より不況に轉じて以來本年一ヶ年を通じて益々形勢悪化し、其結果著しい物價の下落に躍いで工業の生産制限が行はれ、商況は不活潑となり、失業者は愈々増加するに至つた。

一、工業

工業製品の價格が最低點に達した本年九月は一九二三乃至二五年の平均に比較して一〇%低下し、綿毛織物、生絲、砂糖、ガソリン等のストックは減少した。九月の棉花輸出は數量に於ては二五%の増加を見たが價額に於ては却て一八%の減少を來した。又タイヤのストックは自動車の生産高が約三五%減少した爲めに一九%の減少となつて居る。

二、労働

工場に従業員總數は九月は多少増加傾向を示したが特に取立てて云ふ程ではない。又勞銀は昨年九月迄殆ど變りないが労働人員に就て云へば前年同月の七二%に落ちて居る。

勞銀引下の困難なる特殊事情 特に本會議に於て各位の御注意を願ひ度いのは我米國に於ては賃銀引下の實行を困難ならしめる特殊事情の存することである。即ちピアノ、ラヂオセット、洗濯機の如き其他多數商品に付て分割拂

條件を以てする販賣方法が廣く行はれて其總額實に六十億弗——殆ど小賣總價額の七分の一に達して居るが、今後此莫大なる分割掛金を斯ふ財源たる勞銀を引下げる時は、財界に及ぼすべき非常なる悪影響が豫想されるのであつて、其實行を困難ならしめる所以である。然し本問題は勞資兩側にまつて均しく緊要な問題であるから、兩者相互の協力に依り纏て満足なる解決に到達し得るものも信する。

### 三、物價の移動狀況

物貨の移動數量は之を百貨店、通信販賣店、連鎖販賣店、郵便等の實績に徴するに、生産數量より少く、如何なる時期に就て觀ても一九二五年以降各年の平均よりも遙に減少して居る。

運輸方面は鐵道貨物の哩當りの噸數は、一九二八年に比して著しく低下して居るのみならず一九二四年以降のこの月の平均よりも低い。但し此點に就ては、自動車輸送が發達し之が鐵道輸送を壓迫して居る事實を見通すことは出来ない。

### 四、貿易、物價其他

貿易に至ては更に甚しい不振に陥り、本年(一九三〇年)は輸出二三%、輸入二八%を減じた。

物價は尙ほ十分の低落を見ず、一九二三年乃至二五年の各月平均に比して一般指數五〇%高であり、本年は九月に於て最高を示した。卸賣物價及び農産物々價は僅かに見返したが、之は本年夏秋の旱魃の爲め全国的に大害を被つたのに歸因するものである。建築界は一九二三年以來今年に入りて不況最も甚しい。又公共事業に對する支出は本年は

大統領の要求により増額し、石炭の産額は昨一九二九年と同程度に増加した。

### 五、金融

本年(一九三〇年)年初以來引續き聯邦準備高の異例の膨脹に伴つて、商業手形金融の利子は遙かに引下けられ、短期資金は市場に横溢するに至り、貯蓄銀行の預金額は九月迄に一億二千萬弗に達した。斯の如く資金は潤澤であるにも拘らず産業が一體に沈滞して居る爲め尙ほ之に依て投資熱を喚起するに至らない。

### 六、失業狀態

失業範圍は愈々擴大し、其數は近年嘗て見ざる大數を算し、主要都市に於て失業者の冬季救濟費として募られた金額は紐育に於ける六百萬弗、市俄古に於ける五百萬弗を首めとして莫大の額に達して居る。

### 七、露西亞のダンピング

全世界を通じて景氣恢復に對する一大脅威、否最大脅威とも稱すべきは露國政府の行ふダンピングである、米國亦其禍ひを免れないのであるが、其被害程度は他國に比して甚しくはない。但し此大ダンピングが市場を攪亂し財界の安寧を毀損するものなることは言を俟たないところである。最近ソヴィエトの經濟狀態が漸く危殆に類し、債務の履行が覺束ないこの風評が立つに及んで、米國に於ては漸次對露信用取引を差控へる傾向を加へつゝある。

以上は極めて簡單なる我國經濟狀態の概要に過ぎないが、之に依て米國現在の不況が過去五十五ヶ年間に於ける七

度の大不況の何れよりも激甚であり又廣汎に涉ることに就て大體の御了解を得たことと思ふ。

三六

### 第二、不況に臨む態度に就て一般に對する要望

從來深刻なる不況に際會する都度、我米國實業家、銀行家は絶望的地位に陥り、當時到底恢復覺束なしと迄思はれたこと一再に止まらないが、而も堅忍不拔あらゆる努力に依りて毎回克く其難關を突破し、景氣を挽回したのみならず、進んで經濟的に一段の躍進を遂げ、着々國民福祉の増進を實現し得たのである。故に現在全世界を舉げて經濟不況の難苦を俱にするに際しても、吾人は其屬する國籍並に其携はる職務の如何を問はず、各人各個先づ須らく前途に對する無用の憂懼と杞憂の念を去り、只管經濟機關の調整を目指して一路勇往邁進、以て景氣恢復の一日も早からんことを期すべきである。

現時の不況に遭遇して本會議の如き國際的協力の使命を有する機關の重要性は一入痛切に感ぜらるる所であつて、やがて國際商業會議所本來の職能を遺憾なく發揮するの時あるべきを信するものである。此意味に於て來春（一九三一年五月）我華盛頓に開催せらるべき第六回總會には、歐羅巴代表諸氏の相率るて御來會あらんことを切に希望して已まぬ次第である。

白耳義

### グスタフ・エル・ジエラード氏演説の要旨

(Gustave L. Gerard)

白耳義中央産業委員會々頭

國際商業會議所白耳義國內委員會書記

白耳義の經濟情況

- 一、炭 業
- 二、失業狀態
- 三、金 融
- 四、農 業
- 五、自由貿易主義
- 六、生活費の低廉なること
- 七、露西亞のダンピングに對する態度

三七

私は白耳義國內委員會を代表して、白耳義の經濟狀況に關し簡單に申し述べ度い。

三八

### 白耳義の經濟狀況

我國に於ては一九二九年末迄は好景氣であつたが、爾來漸次世界不況の影響を受けるに至つた。然し尙は大體に於て我國の不況は少くも現在に於ては比較的輕度である。

#### 一、炭 業

石炭の生産は從來ミ殆ど變化なく、却て最近幾分の増産を見た位であるが、一面ストックは月々の生産額に相當する程に増加して居り、早晩或炭坑の閉鎖は免れぬ狀勢である。

目下使用中の燐鐵爐数は、昨年一九二九年の五十尺基より四十三基に減少した。

#### 二、失業狀態

失業數も増加したが、生産高減少の割合から見れば比較的僅少で、勞働者總數に對し、全く失業せる者四%、部分的失業者七乃至八%程度に止つて居る。

#### 三、金 融

銀行界は依然として健實の歩調を保つて居る。

#### 四、農 業

唯農業は小麥、砂糖等の値下りの爲め相當不況狀態にあることは云ふもの、之にても我農産物は非常に多種多様であり、家畜、家禽等の輸出品は尙は相當の高に達して居るのであつて、不況程度は左程深刻であることは言へない。

#### 五、自由貿易主義

今日關稅問題は到處喧しく論議される所であるが、此點に於て我白耳義は全くの自由國である。併し乍ら諸外國の關稅にして今後益々高率化する場合に於ては、白耳義も自衛の必要上不本意乍ら之に對抗せざるを得ない。

白耳義の經濟上の強味は本來輸出國であることである。若し各國の關稅障壁が撤廢されるならば我國は更に廣く世界各地に物貨を供給し得る實力餘力を藏して居る。

#### 六、生活費の低廉なること

生活費は比較的低く、一九一四年を一〇〇とする指數は一二五であつて、之を他國に比すれば遙かに低い。之が爲めに我生産原價も自ら相當に低くなつて居る。勞銀の低下に就ては、將來或は諸外國の轍を履むの餘儀なきに立到らぬとも限らないが、從來は殆ど引下けられては居ない。

#### 七、露西亞のダンピングに對する態度

ソヴィエト露西亞のダンピングは我國各方面にも其影響を及ぼしたが、我政府は既に之が對應策を講じ、尙ほ最近勅命を以て露西亞の穀物其他各種物産に對する輸入制限を實施して居る。白耳義は本來自由貿易國なりは言へ、其行ふ所の貿易政策は露西亞の如きに對しては當然門戸を閉鎖せざるを得ないのである。

三九

波 蘭

## ボグスロー・ヘルセ氏演説の要旨

(Boguslaw Harse)

波蘭國內委員會議長  
國際商業會議所副會頭

四〇

### 第一、不況と列國の協力

一、移民國と被移民國との提携

二、金融の改善

### 第二、不況對策——農業國の救済

三、農業國救済の重要性

四、農業國相互間の自發的協定

### 第一、不況と列國の協力

物價の激落、購買力の減退に現はれた經濟不況の一般的不安は、各國々内經濟組織の缺陷、世界不況の影響の二重の原因に由來して居る。從て此不安を除去せんが爲めには、各國は一方其國內の經濟缺陷の除去に努むるに同時に、他方他國と相提携し國際的活動に参加して善後策を講ずるに非れば、世界不況の難局打開を期することは出来な

### 第二、不況對策——農業國の救済

現在の不況は言ふ迄もなく、消費と生産との不調和に基因するものであつて、之に依て被つた打撃の程度は農業國或は之と同様に生産制限の困難なる經濟機構を有する國に於て特に甚しいのである。故に世界一般の利益から言つても、先づ第一に斯る國々の經濟事情を精査し、其經濟組織の鞏固安定を計る必要がある。

#### (一) 移民國と被移民國との提携

爰に於て最も重要な事は移民國と被移民國相互の提携である。此問題は勿論極めてデリケートな問題であるが、今日の場合緊切なる不況の一對策であり、又實際問題として國際間相互の福祉を計るを以て其目的とする國際商業會議所の如き機關を通じて、之に關する意見の交換をなすは極めて意義ある事と思ふ。

#### (二) 金融の改善

次に資本の流通に關する問題亦最も重要である。國際商業會議所は夙に二重課税の如き問題に就き討議する所があつたが、尙ほ此方面に於ては其範圍を擴大し、次ぎ次ぎに現はれ來るところの新現象を捕捉討議する必要がある。例へば現在短期資金のみ潤澤となり、長期資金は殆ど其影を潜めたるが如き事は、財界の重要問題である。嘗ては此兩種の投資が均衡しきを得て經濟安定を支持したのであるが、今日に於ては然らず、發券銀行其他の大金融機關の力を以てしても尙且つ此變態現象を調整し得ない状態であることは亦不況の一大要因であり、其反面に於ては、特に歐羅

四一



巴に於て、新らしい信用形式を生じ、之が主として農業に影響して居ることは景氣恢復の大問題を益々複雑化せしめて居る。

(三) 農業國救済の重要性

此等農業國又は之を同化する歐洲諸國の人口は一億を算するのであつて、其景氣の立直つた曉には、購買力は之に應じて著しく増進すべく、此點よりするも此等諸國の經濟救済に國際的援助を與ふることは、經濟的及び社會的の重要問題である。

(四) 農業國相互間の自發的協定

他國の盡力に俟つ迄もなく、此種の國々は夙に國際聯盟の勸告に従つて、目下共同調査に従事し、着々經濟上の協力活動を以て實際的解決への歩を進め、就中輸出競争の禍害を除去する爲め農産物販賣組織形成の運動の如きは特に注目に値する所である。二ヶ年前獨、波間に締結されたライ麥に關する協約の如きは斯かる運動の前驅をなしたものであつて、最近に開催された中歐、東歐の農業國代表の會議に於ても此の如き方法の利益は齊しく認められた所である。

要之、國際的商工業上の協定即ちシンジケート、カルテルの如き方法は、現在不況の實際的解決の鍵鑰であり、又之に依て豫て國際商業會議所の理想とする國家間の協力促進上に資する所多大である。

瑞典 ジョセフ・ザックス氏演説の要旨

(Josef Sachs)

總領事

國際商業會議所瑞典國內委員會代表

- 第一、國際聯盟に於けるダンピング問題に關する決議
  - 一、國際聯盟會議に於けるダンピング問題に關する決議
  - 二、國際聯盟經濟委員會に於けるダンピングに關する審議經過
- 第二、ダンピング問題の重要性
  - 一、露西亞のダンピングと其低率勞銀
  - 二、露西亞のダンピングの眞目的

第一、國際聯盟に於けるダンピング問題の經緯

(一) 國際聯盟會議に於けるダンピング問題に關する決議

國際聯盟は本年(一九三〇年)九月十日の總會に於て國家の政策として行はれる各種様式のダンピングの經濟的影響を重要視し、之に對してさるべき共同對策に就て各國は至急會商討究を要する旨の決議をなした。

本決議は瑞典代表ベンホルステン氏(前瑞西大藏大臣)の提議に係るものであつて、其際同氏は、國家的に行はれるダンピングに關する調査並に其禍害を救済すべき國際規約の制定に對する瑞典政府の希望を披瀝する所があつた。

## (二) 國際聯盟經濟委員會に於けるダンピング問題に関する審議經過

其後國際聯盟のメンバーたるルンドビック氏(前瑞典商務大臣)は、本年十月末の聯盟經濟委員會に於て次の如く述べて右の意見を敷衍して居る。

「ダンピング問題は自國産業間接保護の問題と相關聯して調査討究すべきの提案は、單に此方面の調査の結果を比較考量する意味ならば敢て不可はないが、私はダンピングはダンピングとして自ら別個の問題であつて、之を間接保護政策の一種と見る事は出来ないと思ふ。

ダンピングに關しては、豫め問題を適宜に分割して調査を進める必要がある。第一にはダンピングの一形式と見られる輸出割戻金及補助金に關する調査であつて、之に關しては一九三〇年三月廿四日の本聯盟の議定書に記載されて居る勸告並に之に關して聯盟經濟委員會の考究せる所に基いて調査を完成する必要がある。第二は高關稅政策に依り自國産業を保護しつ、他國に對して行ふダンピングの調査、第三には其他總て國家政策として行はるるダンピングの調査を必要とする。

尙詳細に涉ては敢て茲に言説の限りではないが、唯民間のダンピングも雖も時としては多少國家干渉の下に行はれる場合のあることを念頭に置かねばならぬ。

ダンピングに關する研究事項、ダンピング研究要項に關する私案として、私は次の四項目を挙げたい。

## 一、輸出割戻金制度

## 二、輸出補助金制度

三、高關稅障壁を設けて輸入を防遏しつ、行ふダンピング

四、其他國家の政策として行はるるダンピング

以上の研究を第一階梯として、第二には民間に於て行はるるダンピングの研究であつて、之はカルテルと密接の關係がある。

上記第一階梯の研究を果したならば、自餘の研究は容易に進捗するであらう。」

聯盟經濟委員會は右のルンドビック氏の提言を承認し、之を來春(一九三一年)開催せらるべき國際會議の議題に供することとした。

## 第二、ダンピング問題の重要性

私は全然右ル氏の意見に賛成するものであり、現在の世界不況の難局を打開する爲めには、此政治的手段に依るダンピング問題を徹底的に研究し解決する必要があると考へる。

## (一) 露西亞のダンピングと其低率勞銀

抑も露西亞は今日組織的のダンピングを行ふのに最も適合せる状態にあるのであつて、其國民の生活標準が元來低きが上に、近來益々之が低下し、剩へ其勞働費は多數の因人使役に依て英米より遙かに低廉なることは注意すべき事

柄である。

四六

(二) 露西亞のダンピングの眞目的

尙又露西亞のダンピングの仕方は經濟的の言はむよりは、寧ろ政治的動機に發する行爲であり、其本來の目的とするところは廣く歐米各市場を顛覆せんとするにあつて、極めて組織的計畫に行はれることは見通すことの出来ない重大事である。

和 蘭

ド・モッシュ氏演説の要旨

(Du Mosch)

和蘭國內委員會議長

第一、保護關稅政策は不可

第二、カルテルの低價協定

第三、關稅引下協定

第一、保護關稅政策は不可

世界の多數國が擧つて保護貿易政策を採つて居る今日、保護貿易國を自由貿易國とするは至難であつて、寧ろ從來自由主義遂行上の困難を経験せる現存多數の自由貿易國をして保護貿易國たらしめる方が容易であるといふ事實は、正にデュッシュマン氏の言はれた通りである。然し乍ら高率關稅による通商障礙の撤廢は現在の不況改善に資する所なしとする同氏の意見に對しては、和蘭國內委員會として之に賛意を表することは出来ない。蓋し保護貿易國にして其保護政策に執着する限りは、メンデルスゾーン氏の痛嘆せられたる國際協力缺如の弊は、之が爲め漸を逐ふて益々悪化するであらう。

四七

### 第二、カルテルの低價協定

併しデユッシマン氏が製造業並にカルテルに對する警告として、消費者の利益を顧慮すべきことを説かれた點は吾々和蘭代表の同感する所である。

是等の點に就ては吾々は唯國際商業會議所が其傳統的指導精神を益々發揮せむことを切望するものであつて、敢て工業利益並に保護政策を固執せざる所以である。

### 第三、關稅引下協定

尙關稅問題に就ては、利害關係密接なる國家間の協調、特に瑞典、諾威と和蘭、白耳義間の協調、又は獨和間に於て所謂相互免除ならざる關稅の引下けに就て協定するが如き方法は、一部の解決方法たるに過ぎないが實際問題として有効であると思ふ。

獨逸

### アブラハムフローヴィン氏演說の要旨

(Abr. Frowein)

獨逸工業組合聯合會副會長

賠償金並に戰時負債問題の不況原因としての重要性

前演說者諸氏に依て既に夫れ夫れ有益なる演說が試みられた後に於て、私より多岐に涉て申し述べる必要はない。唯私は不況對策を講ずるに方つて見通すことの出来ない一事象に就て敢て諸氏の御考慮を煩はし度いと思ふ。

### 賠償金並に戰時負債問題の不況原因としての重要性

不況原因として本日討議された所は、何れも極めて重要ではあるが、今後更に一般の注意を要するは、世界經濟に壓迫を加へつつある變態的重荷、特に戰時負債並に賠償金の問題であると思ふ。

是等の特殊債務はもろ／＼戰爭の所産であつて經濟取引は全然無關係のものであるが、而も之が世界の經濟狀態に及ぼす害惡に至つては意想外に深甚である。

此特別負債の存続する限り、世界經濟の健全なる回復は期し難きのみならず、あらゆる不況對策に至る迄之が爲め甚しく其効率を減殺されることを免れないであらう。斯く言へば或は此種の特殊負債額は世界貿易額乃至資本流動額に比較して、極めて小額に過ぎぬではないか論駁する者があるかも知れない。然し私をして言はしむれば、其金額は世界的觀點よりは假令小額であるにしても、其與ふる禍害程度に至つては寔に測り知るべからざるものがあるのである。

獨逸の戰爭負債の支拂年額十五億乃至二十億ライヒス馬克は、獨逸に限りては正に致命的の負擔である。此巨額なる一方的債務を決済する方法としては勿論唯之に相當する商品の國外移出あるのみであるが、斯の如き支拂方法をこらねばならぬといふことそれ自らが既に經濟の常道を逸した事であつて、世界財界動亂の原因となる上に、之を實行するに及び、愈よ其健全なる發達が阻得されるのである。現在歐洲財界はさらでだに不況深刻を極むるに際し、搦て加へて此世界的なる商品及貨幣市場の不安原因を附加するに於ては、世界經濟状態は愈よ以て危地に陥り、遂には本問題こそ不況に關する最大重要問題たるに至るであらう。

私は勿論敢て茲に聯合負債若くは一般戰時負債の解説を試みんじするものではない、唯此問題に就て私に先立つて述べられた他の諸氏と同じく、本問題の世界經濟上に有する重要性を認め、且つ此際特に前述の如き補足を加へ置く必要ありと信じて以上申し述べた次第である。

## 英吉利 フェリックス・シュスタ卿の演説の要旨

(Sir Felix Schuster, Bart)

英國ナショナル・エンド・プロビシタル・バンク取締役

### 第一、退學的時代風潮革正の要

- 一、露西亞問題
- 二、印度問題
- 三、米國の關稅引上
- 四、賠償金及戰時負債

### 第一、退學的時代風潮革正の要

不況問題に對しては各國個々の問題に就ての努力のみを以てしては、到底其救済の目的を達成することは不可能であつて、結局列國相提携し萬國共通の問題として之に當らねばならぬことは、漸く一般の認むる所となつた。

然らば如何なる對策を講ずべきかに就ては國に依り各々其見る所を異にするのであるが、此際一般に財界の將來に對する希望と信念との復興を計り、以て世風の退學を縮を防ぎ、企業精神を鼓吹することは、あらゆる不況救済策を通じての第一要件である。

## 第二、不況の重要原因

斯の如き時代風潮の革正を期するには、豫め今日の經濟不安の由來する所如何を究めねばならぬ。

## 一、露西亞問題 (因にシュスター卿は露西亞問題の研究者として合名あり)

ソヴェエト露西亞の行ひつつある政策の目指す所は、單に其隣邦のみならず全世界の經濟組織を破壊し、之に依て其政治組織の全倒壊を計り、究極はあらゆる現社會の制度を文化そのものを根柢より覆すにあることは、最早殆ど疑ひの餘地なき所であつて、此事は早晚當面の問題として吾々の眼前に露はれ來るであらう。

吾々は資本主義制度を以て最善の社會制度を信ずるものであるが、露西亞は此資本主義の倒壊を以て其目的とし、事態は既に危険に迫つて居るのであつて、之に對しては來るべき華盛頓會議の間かる、を待たず、急遽然るべき對策を講ずる必要があると思ふ。

バルフォア卿の言はれし如く、ソヴェエト政府に對しては、現金取引は別として信用取引は絶対に之を拒絶しなればならぬ。私一己の意見としては、更に進んで一切の對露通商を斷絶するを以て最善の手段を考へる。元來露西亞品なるものは、牢獄生産品乃至は事實上の奴隸労働の所産に外ならぬのであつて、當然白耳義の如く之に對し輸入禁止を斷行する必要があるのである。

露西亞の毒手は歐羅巴諸國のみならず、遠く極東の諸國即ち支那並に印度に迄及び、甚大なる悪影響を與へて居る

のであつて、其等諸國の經濟的並に政治的動亂の禍根は主として之に由來するのである。

## 二、印度問題

印度に關する問題は目下倫敦に於て、英印當事者間に會議進行中であつて、茲に論議すべき限りではないが、此度の會商に依て問題はやがて平和の解決を見、貿易も亦直ちに恢復すべき見込である。

## 三、米國の關稅引上

次に此機會に於て米國に對する腹藏なき意見を述べ得るならば、同國の關稅引上も亦遺憾乍ら世界經濟に對する重大なる一大打撃であると言ひ度い。而も時恰も歐羅巴の不況深刻を極むる際にて、其影響は殊更に甚大であり、爲に時局の拾收は將來益々其困難の度を加へたのである。

然し乍ら此高關稅政策の可否に就ては、最近米國々内に於ても異論のある所であつて、同國自體の利益よりするも、やがては其政策を變更するの有利なることが認めらるゝに至るべきを信じて疑はない。

## 四、賠償金及び戰時負債

又フローブイン氏の高唱された賠償金其他商業關係以外に係る資本の國際的移動も亦極めて重大なる問題であつて、本問題の解決を見ない限り人氣の好轉は望めない。

抑も今日紐育其他に金が偏在するに至れる其根本理由は明かに國際信用の缺如に在るのであつて、本問題解決の緊要なる所以も亦茲に存するのである。

世界の繁榮を計るの要訣は、此特殊なる國際債務の問題を解決し、尙ほ一般にはすべての過度なる通商障礙を排除し、貿易をして其正規状態に復せしむるを以て第一とする。

世界經濟上に占むる米國の優越地位 此國際支拂問題に關しても同じく米國の深甚なる考慮を煩さねばならぬ。現在米國の有するが如き、偉大なる世界經濟上の優越地位は史上未だ曾て見ざる所であつて、事實米國の力を以てすれば、現今世界各國を脅かしつつある經濟不安の重壓を除去する道を拓くことは決して不可能ではないのである。唯吾々は吾々として、あらゆる進歩改善の根本要件たる不動の信念と企業精神とを作興すべく相協賛して全力を盡し、以て國際商業會議所の荷ふ重大なる責任を果さねばならぬ。

### チエツコ斯拉バキア

### ジョセフヴァネック氏演説の要旨

(Josef Vanek)

チエツコ斯拉バキア國內委員會書記長

#### 第一、不況原因

- 一、生産能力の過度の膨脹
  - (イ) 過度なる工業投資の悪影響
  - (ロ) 新興國保護政策の悪影響
- 二、金融上の變調
  - (イ) 投資市場の變調
  - (ロ) 通貨の膨脹
- 三、産業合理化の促進と企業の控制
  - (イ) 物價水準の低下
  - (ロ) 工業に關する國際的協力

#### 第二、不況救済の要件

チエツコ斯拉バキア國內委員會は、自國に於ける不況の實狀に鑑みて、其原因に關し聊か本會議の參考に供し度い。

#### 第一、不況原因

不況原因の探究は、生産並に金融の二方面に就て行はれた。

五六

### 一、生産能力の過度の膨脹

生産方面に就て云へば、農作物並に或種の原料品は別として、一般には現在の不況は生産過剰の爲め云ふよりは、生産能力が過度に膨脹したことに基因するもの云ふ方が適切である。

#### (イ) 過度なる工業投資の悪影響

近年工業界に巨額の資本が投下されたが、之は徒に其生産能力を増大したのみで、製品の需要の増加を伴はなかつたので、爲に却て工業界の悩みを増したに過ぎない。其結果工業會社に負擔を生ずるもの多く、製品價格の低落に對して、生産費は増資の爲め高まれること、及び失業の増加等の事情が加はつて益々事態は悪化した。

#### (ロ) 新興國保護政策の悪影響

又新興諸國が國內産業樹立の爲に保護政策を力行する其結果如何云ふに、其等の國々が他國の輸入を防遏する場合は却て自國內市場の物價騰貴を來し、從て農産物原料品等の自國の自然物産の輸出も亦自ら不振に陥ることを免れぬのであつて、結局内外共倒れとなるに過ぎない。

### 二、金融上の變調

#### (イ) 投資市場の變調

貨幣の流通に關しては、一般に金問題として云爲せられて居るが、不況の眞因は寧ろ最近に於ける投資市場の變調にあるのである。

#### (ロ) 通貨の膨脹

又通貨安定の結果、多額の外債及び流通手形を發券準備に繰り入れた爲に通貨の膨脹を來した。乃ち金利は低下し、金融は活況を呈し、人氣も一時は立直つて、物價の如きも一九二七年乃至二八年の二ヶ年間は落調より轉じて昂騰の氣配をすら見せたのである。

然し乍ら物價の大勢は一九二二年以降漸落の歩調を辿り、特に此傾向は戦後の弗の低落及び各國に於ける通貨の安定に依て益々其傾向は助長されたのであつて、此通貨安定以來現在不況の始まる迄の中間期間は、當時尙ほ國內に流通せる外貨を發券準備金に繰り入れたことに由來する信用膨脹時代も稱すべきものである。斯の如き紙幣の濫發は要するに一時は物價の低落を人爲的に阻止したもの、之が爲め一般物價は後日に至り殆ど急天直下の大暴落を見るに至つた。

斯の如き中間景氣の期間に於て、國富は過大に評價され、企業投資は俄に旺盛となり、又個人生活に於ても各人が經濟的に自らを實力以上に買ひ被る慣習を馴致し、其生活は自ら驕奢に逸すること、なつた。近來蓄音機、ラヂオセツト、人絹等の「民衆奢侈品」も稱すべきもの、製造工業が發達し來つたこと、及び其好景氣が適當な物價平準に基

五七



礎づけられて居なかつた所以はこゝにあるのである。

### 第二、不況救済の要件

#### (イ) 産業合理化の促進と企業 Kontrolle

上述の如き見地より觀て、一般社會特に商工業者が不況の恢復を策するに當り留意すべき要點は、産業合理化を促進して生産費の低減を計り、且つ其生産を市場の狀勢に依て調整することであつて、此際に於て新興業を起し、或は現在以上に生産を擴大するが如きは、徒に其困難を加へるに過ぎない。

#### (ロ) 物價平準の低下

貨幣の流通及び信用の現狀よりすれば、現在の一般物價水準は尙ほ下降の餘地があるのである。故に今日の場合、世界的に一般物價が成るべく早く、而も小賣物價に至る迄今一段の低下を見、之に依て一日も早く經濟界が正規狀態に復することを得ふ次第である。

#### (ハ) 工業に関する國際的協力

尙ほ現在の不況に對する最も有效なる對策、少くも緩和策は、工業上の國際的協力なることを茲に強調して置き度い。

## 印度 ダビッド・エス・エラルカール氏演説ノ要旨

(David S. Erulkar)

シンディア汽船會社(倫敦)支配人

印度國內委員會代表

### 印度問題

- 一、印度政情不安の其貿易に及ぼせる影響
- 二、印度の政治運動
- 三、現在印度民の經濟的疲弊
- 四、印度の國際債務

### 印度問題

印度の將來に就て目下倫敦に開かれて居る英印會議が圓滿なる解決に到達し、之に依て印度人民の合法的にして當然なる要求の貫徹せられむことを翹望することに於て、私はシヌスター卿に其感を同うするものである。何となれば此會議の結果如何の關する所は印度及び英國の將來の親善と繁榮のみならず、延いては世界の安否に關するところの重大性を有するが故である。

#### 一、印度政情不安の其貿易に及ぼせる影響

世界貿易市場に於ける印度の經濟的地位の重要なるを顧る時、吾々は印度現在の動亂は當然貿易の盛衰に密接なる關係を有するものとして之を看過することは出来ない。世界人口の五分の一を占むる大國印度の經濟狀態如何は、良かれ悪しかれ直ちに之が諸外國の經濟に反映せざるを得ないのである。

印度の動亂が如何に經濟上に影響する所大であるか、又は動亂其ものが如何に苛烈なりしかは、其期間に於ける輸入貿易の盛衰に徴すれば明かである。即ち昨一九二九年三月の輸入高二千百萬磅は今年同月には千五百七十八萬磅に激減し、爾後引續き減少して本年九月には更に之が半減し僅に八百七十八萬磅を出ない有様である。

#### 二、印度の政治運動

私は成る可く政治問題に觸れることを避け度い。然し乍ら政略も永久的政策として踏襲され、或は進んで法令として社會を律する場合は、直接に且つ實質的に其社會の經濟方面に影響せざるを得ないのであつて、斯る政略に至ては單に其政治上の問題たるの故を以て、無碍に之を經濟問題と切り離すことは出来ないのである。此意味に於て現在印度に行はる、政治運動を、其經濟的方面に就て茲に論ずるは強ち其機を誤つたものではないと思ふ。

此度の印度の動亂こそは實に過去多年に亘る弊政、即ち印度の國情を無視し、遂には其存立をも危うからしむべき不當苛虐なる經濟政策に對する、押へ難き積年の鬱憤が勃發せるものに外ならぬのである。

#### 三、現在に於ける印度民の經濟的疲弊

國民繁榮の基礎は其購買力の如何にあるが、此點より觀たる印度民の現狀は、從來多年に亘る稅政の結果として其

購買力の萎靡せること洵に憐むべき狀態である。印度人の平均月收は七ルーピー、即ち月七十法、一日僅か二法強に過ぎず、殆ど露命をも凌ぎ兼ねる少額であつて、購買力の如きは無論皆無き云つてよい。

世界貿易に多少の貢獻をなしつゝ、ある印度人の數は其大人口の僅か十分の一に満たぬ少數に過ぎない事實に鑑みても、將來若し印度の經濟狀況が改善され、残る十分の九が世界の消費者として出現する曉に於ては、印度全體としての世界市場に對する貢獻の如何に偉大なるかは容易に之を想見することが出来やう。

#### 四、印度の國際債務

バルフォア卿は國際債務の問題に就て述べられたが、印度も亦現に過重なる負債の重荷と其利息の支拂に苦しむつゝ、あるものである、此事は之なくも經濟的に不具者同然なる印度に、輸出の爲めの不規則なる生産を強ふることに、なり勝である。

要之、印度をして印度自らの經濟政策を遂行せしむる自由の地位を賦與せざる限り、此世界人口の五分の一を占むる印度人民は其世界貿易上に應分の寄與をなすことは到底不可能である。

羅馬尼

## アーサー・ホルバン氏演説の要旨

(Arthur Holban)

羅馬尼國內委員會書記

六一

不況対策としての歐洲産穀物に  
關する特惠待遇制度方案の提唱

一、該方案の沿革  
二、該方案の關係國及提案の内容

### 不況対策としての歐洲産穀物に關する特惠待遇制度方案の提唱

#### 一、該方案の沿革

去る六月(一九三〇年)の國際商業會議所理事會に於て、我羅馬尼國內委員會は現時の不況対策として、歐洲産穀物の爲に特惠制度の施行方を提唱した。本問題は歐洲委員會附託となり、目下同委員會に於て調査研究中であるが之に依て中歐並に東歐の農業國を始めし、延いては全歐洲の不況救済策を企畫し得る見込である。

此歐洲産穀物に關する特惠待遇の方案は最近數ヶ月間に著々進展し、既にワルソー及びブカレストに開かれた中部並に東部歐羅巴の各農業國の代表會議に於て採用さるゝに至つた。爾來之等諸國は本案を以て國際聯盟の問題に供し、審議漸く其緒に就いたのであるが、尙ほ此機會に於て之を本國際商業會議所の議に諮らんとする次第である。

#### 二、右特惠制度方案の關係國並に其内容

本年十月の國際聯盟會議の決議書には中歐並に東歐の農業國の提議の外、國際聯盟より本問題に關する調査方を委嘱された副委員會の詳細なる報告を添附されて居る。其副委員會の構成員は、所謂農業國としては即ち勃牙利、匈牙利、ユーゴスラヴィア、波蘭、羅馬尼、又農産物輸入國としては埃太利、チッコスラヴィキア、佛蘭西、獨逸、伊太利、瑞西の各國代表である。

又其報告の結論は副委員會に於て伊太利代表を除くの外全委員の賛成を得て可決を見たものであつて、我羅馬尼國內委員會が本會議に付議せんとするのは、其内農業國から提議された六ヶ條であつて、之を列挙すれば次の通りである。

- (1) 歐洲農産物に對する特惠待遇制度は、最惠國條款に對する例外的制度と見るべくして、國際貿易制度に一特例を開くものとす。
- (2) 該特惠待遇制度は原則としてあらゆる國際貿易上の重要物産に適用するを理想とするも、今直ちに全部的には實行困難の事情あるを以て、現下經濟時局の實情に鑑み、小麦、玉蜀黍、燕麥等の穀物並に其加工品のみに行行ふを可とすべし。
- (3) 該特惠待遇はあらゆる歐洲産穀物に付、數量に制限を附することなく行ふを原則とするも、穀物輸出國は之を濫用して歐洲市場の不利益を招くが如き非行あるべからざるべし。

六三

- (4) 該特惠待遇制度實施の爲には左記要件を満たすことを要す。
  - (イ) 穀物に對する關稅の引下
  - (ロ) 右關稅率を適當なる標準に依り統一すること
  - (ハ) 該特惠制度の效益をして、間接保護政策に依り侵されざらしむるの保證
- (5) 該特惠待遇制度は、從來穀物に對し關稅を課せざる諸國をも含み、成る可く歐洲に於ける穀物輸入國全部に於て之を採用すること。
- (6) 現在最惠國約款に基く商業上の互惠條約を實施しつゝ、ある諸國は、歐洲産穀物に關する特惠待遇を最惠國約款の除外例として之を承認すること。

因にホルバン氏より右の六ヶ條を國際商業會議所の討究に委ね度しき動議し、會議は特別決議を以て之を承認した。

### 瑞 西 ルネ・ヘンチ氏演說の要旨

(René Hentsch)

瑞西國內委員會議長代理

#### 第一、保護關稅の撤廢

#### 第二、ソツイェト露西亞の禍害

#### 第一、保護關稅の撤廢

デュシマン氏は自由貿易は理想とする所なるも、現前の問題として或種の保護關稅尙ほ可なりと論ぜられた。然し乍ら關稅なるものは要するに一種の支柱たるに過ぎない。假令廢疾者不具者には撞木杖の必要ありとするも、成る可く早く之が不用になることを望ましいのである。貿易に就ても其理は同様であつて、此見地よりすれば保護貿易國も其關稅障壁の排除に努め、貿易自由の理想に向て進むべきである。由來大國民は自由貿易を以て主義とし、其國運の發展亦之に負ふ所が多い。英國が其最盛期に於ても尙ほ終始渝らず自由貿易國の旗幟を變へないことは即ち同國の大國民たるの榮譽である。

## 第二、ソヴェト露西亞の禍害

六六

デューシマン氏の言はる、如く、目下世界を擧げて生産過剰に悩みつゝある時、一大國にして其國內に驚くべき生産組織の建設を怠いで居るものがある。ソヴェト政府の五ヶ年計畫即ち之である。

ソヴェト政府の主義綱領たるや、經濟、政治、社會乃至宗教生活の各方面の根本に於て、自餘一般の國々ミ全然其趣を異にし、氷炭相容れぬものたる以上、列國は空しく手を束ねて、此五ヶ年計畫の如き世界各國の努力經營の效を覆すべき危険極まる反對計畫の進行を其ま、打捨て置くべきであらうか。各人は宜しく勦考熟慮の上、此恐るべきソヴェトの計畫實現を未然に防べく、全力を擧げて之に對抗すべきである。

ソヴェトに關するシニスター卿の演説は誠に卓拔なる辯論であり、瑞西國內委員會は其陳述に對し滿腔の贊意を表するものである。

經濟問題の益々錯綜し複雑化し、國際協力の緊切なること今日の如きは曾てないところである。フィンランド、瑞西其他の友邦がソヴェトの競争に遭ひ、悪戦苦闘しつゝあるを見ても國際協力の必要なるは言ふ迄もなく、他國は宜しく其購買者となつて、是等諸國に力を添ひ、以て國際相互扶助實現の爲にあらゆる努力を各々ではならぬ。

## 西班牙 カルロス・プラスト氏演説の要旨

(Carlos Prast)

西班牙國內委員會議長  
國際商業會議所副會頭

### 自給國西班牙に不景氣なし

我西班牙に於ては不況の影響を以て見るべきものはなく、少くも他國程甚しくはない。これ我國の經濟が殆ど自給組織である爲に、世界不況の影響を以つても唯間接に感ずるに過ぎぬからである。

然し我國にはかねて一般に廣く行はる、ペセタ(銀價)の投機取引に關する特殊の恐慌に遭遇したのであるが、此ペセタの崩落は一面期せずして廉價なる外國品の國內流入を防止するの効果があつたとも言へ得るのである。西班牙國立銀行は四十六億ペセタの發行紙幣に對し、金二十五億、銀七億ペセタの準備を保有して居るから、此取引恐慌は切り抜け得るのである。

又我西班牙に失業問題の起らぬのは、元來其生産品の販路が國內市場に限られて居る爲に、不況の影響を被るこゝが少かつたからである。

六七

本年夏季の旱魃の爲或種の事業は打撃を被つたもの、冬季の降雨に依て常態に復した。

六八

ソヴェエトのダンピングからも、我國は今日迄大して影響されるこゝがなかつた。唯木材に就ては非常な安値を以て商談を受けたこゝはあるが、之亦國內實業家の對抗策に依て其ダンピングを撃退するこゝが出来た。

### 國際商業會議所理事會（一九三〇年十二月五日巴里ニ開催）

#### ニ於ケル現下經濟狀態ニ關スル決議

國際商業會議所理事會ハ本年六月ノ會議ニ於テ、現下經濟不況ノ原因並ニ當時ノ狀況ニ就キ討議スル所アリシガ、爾來今日ニ至ル迄何等不況改善ノ跡見ルベキモノナク、國ニ依リテハ不況益々深刻ノ度ヲ加ヘ、從來比較的無難ナリシ諸國ニ至ル迄近來漸ク經濟不安ノ渦中ニ陥ルガ如キ狀勢ニ在リ。

近代世界經濟ハ渾然タル一體ヲ形成シ、萬國ハ經濟上密接ナル相互依存ノ關係ニ立ツヲ以テ、不況問題ニ對シテハ其原因並ニ影響ニ關シ、綜合的共同調査ノ遂行ヲナスヲ以テ刻下ノ急務ナリトス。

史上大戦ノ後必ず經濟不況ヲ伴フヲ見ル。而モ其範圍ノ廣ク世界大ニ及ブコト今次不況ノ如キハ未ダ曾テ見ザル所ニシテ、之ガ恢復ヲ圖ルノ道ハ唯世界各國民ノ協心戮力ノ一途アルノミトス。

六九

現下不況ノ原因並ニ其特徵ノ中重要ナルモノヲ舉グレバ次ノ如シ。

一、人口及消費ノ増加ヲ凌駕スル生産能力ノ増進

二、長期ニ亘ル世界商品價格ノ下落ニ踵ギ更ニ急激且ツ過度ニ物價ノ暴落セルコト

特ニ原料品及食料品ノ價格ハ生産原價ヲ割り、小賣物價ト卸賣物價トノ平衡ヲ失  
セルコト

現在ノ物價低落ハ「ストック」ノ不消化ニ因リ恢復遲々トシテ拂ラザルコト

三、世界各國ニ於ケル農業不況

四、未曾有ニ夥シキ產業界ノ失業

五、政局不安ニ因ル財界ノ行キ悩ミ

六、世界的大市場ニシテ一部の若ハ全部的ニ閉鎖セルモノアルコト

七、通貨安定ガ國ニ依リ各種各様ニ行ハレタル爲各國々内經濟狀態ノ國際經濟狀態ニ  
對スル調整ガ敏速ニ行ハレザルコト

八、長期資金及短期資金ノ利率懸絶シタルニ因リ到ル處企業及投資ノ抑塞セラレ、コ

九、

銀價暴落ノ爲世界人口三分ノ一ノ購買力ヲ一層減殺セルコト

一〇、穀物、原料品及半製品ニ付「ソヴェエト」露西亞ガ世界市場ニ對シ普通生産費以下  
ノ廉價ヲ以テ大規模ノ「ダンピング」ヲ強行スルコト

一一、國內及國際債務巨額ニ達シ之ガ爲諸國ニ於テ租稅ノ重課セラレ、コト

一二、官業ガ民業ノ範圍ヲ侵シテ之ヲ壓迫シ往々ニシテ民業資本ノ蓄積ヲ妨ゲ其發展ノ  
途ヲ塞グコト

右諸事項ハ何レモ事業界乃至金融界ヲ擧ゲテ不安ニ導キ經濟復興ヲシテ益々困難ナラ  
シムルモノトス。如斯不安ナル經濟狀態ニ新局面ヲ開拓シ以テ不況ノ挽回ヲ圖ルハ主ト  
シテ事業並ニ金融當事者ノ負フベキ任務ナリ。

今次ノ不況ハ從來ノ夫ニ比シ一般的ニシテ廣範圍ニ及ブトハ雖モ、不況ハ畢竟一時的  
變態ノミ。過去ニ在テモ不況ノ後必ず事業界ノ改善進歩アリ國民福祉ノ増進アリ。而シ

經濟聯盟既刊刊行物

昭和五年四月以降

	實 費
英國の産業振興運動の一端に就て.....(土岐 章君講述).....	Y 0.25
獨逸に於ける産業の合理化に就て.....(佐堂卓雄君講述).....	紙版
大學及專門 學校卒業者 就職問題意見集.....(調査室報第三號).....	0.50
日支關稅協定並に協定品目明細表.....	0.10
現行稅制特に所得稅及營業收益稅に就て.....(神戶正雄君講述).....	紙版
産業の合理化を如何に實行すべきか.....(杉村謙太郎君稿).....	紙版
歐洲の近情並に世界當面の重要諸問題.....(安達峰一郎君講述).....	0.10
「ソツイエト」聯邦事情.....(酒匂秀一君講述).....	紙版
米國關稅改正の本邦對米貿易に及ぼす影響.....(調査室報第四號).....	0.10
獨逸の近狀.....(長岡春一君講述).....	0.10
「ブラジル」より歸りて.....(有吉 明君講述).....	0.10
國際賣買規定統一條約案に對する意見.....(調査室報第五號).....	0.30
濠洲聯邦關稅改正ニ關スル調査資料.....(調査資料第六號).....	0.10
歐洲に於ける鐵鋼業の國際競争と貸銀率.....(調査室報第七號).....	0.10
英國政府綿業調査委員會報告書.....(調査室報第八號).....	0.20
英國經濟使節 (British Economic Mission) の 極東來訪に就て.....(調査室報第九號).....	0.10
The International Chamber of Commerce and Industrial Statistics (第十九回國際統計協會會議用).....(國際商業會議所日本國內委員會).....	0.30
固定資産原價償却に關する參考資料.....(調査室報第十號).....	0.25
A Short Story of the Financial Recovery of France (第十九回國際統計協會會議代表員 ジェー、エル、ルエフ氏講述).....	0.15
英國經濟使節の日本に於て調査したる 英國輸出貿易法の缺點.....(調査室報第十一號).....	0.10
事業所得に對する稅制建議參考資料.....(調査室報第十二號).....	0.20
第十九回國際統計協會會議に關する報告 (國際商業會議所本部への報告) (國際商業會議所日本國內委員會).....	0.30
An Outline of the Present Economic Conditions in Japan (國際商業會議所會頭より の報告に對する回答) (國際商業會議所日本國內委員會議長).....	紙版
世界不況に就て 一特に米國の事情を參照したる 一 (英文) (獨逸ボン ヨセフ、シユンペーター博士講述).....	0.15
The Existing Economic Crisis (國際商業會議所刊).....(國際商業會議所日本國內委員會).....	0.30
極東貿易に關する統計表 (亞細亞及太平洋諸國ノ相 手國別及商品別貿易統計) (國際商業會議所日本國內委員會).....	0.65
國際聯盟第十一回總會に於ける經濟問題 (子 爵 井上西郎君講述).....	0.10
歐米に於けるラヂオの國民的及國際的利用 (日本放送協會理事 支部 常務理事 中山部次君講述).....	0.10
國際商業會議所理事會に於ける 世界不況に關する演說並決議.....(國際商業會議所關係書類第三號).....	0.25

テ之ガ實現ハ職トシテ不撓ノ努力、耐忍、勇氣並ニ經濟安定ヘノ不動ノ信念ニ依ルヲ常  
トス。故ニ此際各人ハ國籍職業ノ如何ヲ問ハズ、先ヅ其恐怖悲觀ノ念ヲ一掃シ、只管  
經濟復興ヲ志シ、奮起斷行、相協力一致シテ事ニ當リ、以テ所期ノ目的ヲ貫徹スルコト  
ニ努ムコト本會議ノ切望ニ勝ヘザル所ナリ。  
不況救濟ノ目的達成ニ資セムガ爲メ、國際商業會議所ハ現下經濟狀況ニ關スル精細ナ  
ル調査ヲナサントス、之ニ關シ各國內委員會ノ熱誠ナル援助ヲ希望ス。